

Sophia Fukuoka Junior and Senior High School



学校法人 上智学院

# 上智福岡中学高等学校

SCHOOL GUIDE 2025



上智福岡中学高等学校

<https://www.sophia-fukuoka.ed.jp>



*For Others,  
With Others*

## Contents

校長メッセージ	02
本校について	
沿革／校訓／校歌／校章	03
卒業時の生徒の姿	04
イエズス会とその教育精神	05
上智福岡の目指す六年一貫教育	06
21世紀型新カリキュラム	
大学受験を見据えた学力づくり	08
課題発見・解決型授業 「Studies For Others(SFO)」	09
上智福岡の理系教育	10
英語コミュニケーション教育	12
グローバルリーダー育成プログラム	13
上智大学との教育提携プログラム	14
海外研修	16
国内研修・ボランティア	18
留学生受け入れ・国際交流	19
コンテスト	19
上智福岡の心	20
上智福岡の一日	20
年間行事	22
クラブ活動	24
施設紹介	
キャンパスマップ	26
進路指導	28
入学について	
入試情報	30
校納金	30
制服紹介	31
よくあるご質問	32
在籍生徒住所分布	33
交通案内	33

# SOPHIA FUKUOKA

「より大きいなるものを知り、他者に奉仕し、世界への懸け橋となるリーダー」を育てます。





学校法人上智学院  
上智福岡中学高等学校  
校長 船橋 岩  
Iwao Funabashi

上智福岡はキリスト教カトリック修道会であるイエズス会を経営母体とする学校です。イエズス会学校の歴史は、フランシスコ・ザビエルが日本の地を踏む前年の1548年にイタリアで始まり、わが国では1580年に建てられた安土と有馬のセミナリオ、府内のコレジオにまで遡ります。その草創期から、「若者の教育は世界の変革である」「Puerilis Institutio est Renovatio Mundi」と信じ、「知識の修得」と「公益に奉仕する人格の陶冶」をすべての生徒に心掛け、卓越した人間性の育成を大切にしてきました。

ICTの急速な発展とグローバル化が進む時代へと変わり、今私たちは地球規模の様々な課題を抱える世界に生きております。この21世紀においても、イエズス会教育の伝統に変わることはありません。本校は生徒一人ひとりに寄り添い支えながら、与えられた能力を十全に伸ばし、他者を自分のように大切にする優しさと、良心の声に従って行動する勇気を生徒に育てます。私たちはこのようにして、生徒が自分の適性に合った形で、他者と共に、よりよい世界、より暮らしやすい世界づくりに貢献する人へと成長してゆけるよう日々教育を行っております。

# For Others, With Others



## 沿革

1932年（昭和7年4月）	福岡カトリック神学校として開校
1932年（昭和7年10月）	福岡市薬院御所谷に移転、カトリック学院と改称
1933年（昭和8年6月）	福岡市平尾杉谷に移転
1936年（昭和11年3月）	泰星中学校と改称
1946年（昭和21年4月）	カトリックマリア会に経営移管
1948年（昭和23年4月）	新制泰星高等学校開校
1951年（昭和26年3月）	学校法人泰星学園設立
1969年（昭和44年4月）	カトリック福岡司教区に経営移管
1974年（昭和49年2月）	福岡市中央区輝国に第1期建設工事竣工
1983年（昭和58年4月）	イエズス会に経営移管、校地拡張
1984年（昭和59年4月）	6ヶ年1期生中学入学
1990年（平成2年3月）	6ヶ年1期生高校卒業
1992年（平成4年4月）	創立60周年を迎える
2010年（平成22年4月）	上智大学と教育提携開始
2011年（平成23年4月）	上智福岡中学高等学校に校名変更、上智福岡1期生入学
2012年（平成24年4月）	男女共学開始
2016年（平成28年4月）	学校法人「上智学院」、「栄光学園」、「六甲学院」、「広島学院」と法人合併し、法人名を「学校法人 上智学院」と改称

## Magis — さらによりよく —

For Others, With Others — 他者に奉仕する —

Excellence — 卓越性を求める —



## 校歌 はばたけ ソフィアの鷲よ

作詞・作曲 新井満

1. 青空にはばたけ ソフィアの鷲よ  
虹の橋 こえて まなざし高く  
この惑星の限りない平和のために  
今こそ使命 はたすとき  
Men and Women for Others, with Others  
上智福岡 上智福岡  
われらが母校

2. 明日へとはばたけ ソフィアの鷲よ  
闇の空 こえて 勇気もやして  
この惑星の美しいのちのために  
今こそ愛を歌うとき  
Men and Women for Others, with Others  
上智福岡 上智福岡  
われらが母校

## 校章



本校の校章は、  
「盾」に描かれた「わし」、  
英語名である  
SOPHIA FUKUOKAの  
文字が染め抜かれたフラッグ  
から成り立っています。

「盾」は知性と思慮深さを表す紺青(こんじょう)色と秘めた情熱を表す臙脂(えんじ)色で彩られ、その2色でキリストの愛の象徴である十字架を浮かび上がらせています。さまざまな悪に立ち向かい、多くの人を守りながら導いていく「盾」は、まさに For Others, With Others を象徴しているものといってよいでしょう。

「鷲」は上智大学のシンボルマークであり、「ソフィアの鷲」と呼ばれています。真理の光をめざして力強くはばたく姿をかたどったもので、中央にしるされた文字は、「真理の光 (Lux Veritatis)」の頭文字です。ソフィア(SOPHIA)とはギリシャ語で「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」を意味します。

この「盾」と「鷲」を組み合わせることで、For Others, With Others の精神に、最上の叡智を追い求める本校の教育精神を示したものとなっています。



「より大きいなるものを知り、他者に奉仕し、世界への懸け橋となるリーダー」を育てます。

上智福岡は、授業の主体的・対話的で深い学びと学校生活でのあらゆる教育活動を通して次のような人を育てます。



## 1 キリスト教ヒューマニズムを身につけている

『隣人愛』学校生活を共にする人ひとを大切にでき、敬意や感謝を示し、他者を思いやり放すことができるようになります。  
『真理の探究』はじめのある学校生活の中で、基本的な生活習慣と学習習慣を身につけ、すべての科目に興味と関心を持って、より真なるもの、善なるもの、美なるもの、そして聖なるものを探求します。  
『人格の陶冶』真・善・美を知る喜び、聖なるものへの畏敬の念を感じる感性を身につけ、それらが自分を自由にし、与えられた特性や才能を、他者や社会の必要とされるところですすんで役立てることができる人になります。

- ① キリスト教ヒューマニズムに触れ、理解している
- ② 他者や社会に奉仕する中で自己の人格を陶冶することを目指す
- ③ 真理を研究し、真の自由を得るために、自らを高めることができる

## 2 他者に仕えるリーダーシップを持っている

『奉仕』異なる性格、考え方、感性、能力を持つ仲間と協力し、居心地のよい学校環境をつくり、人の喜ぶ姿を見て、真の幸せを感じる人になります。  
『使命感』自分が家庭、学校や社会の中で育まれていることを知り、よい共同体を作るために責任を持って自分の役割を果たせるようになります。  
『リーダーシップ』学習活動、部や委員会活動、諸行事、奉仕活動に積極的にかかわるなかで、リーダーに必要な論理的思考力、コミュニケーション能力、行動力を身につけ、やがては、責任ある立場に立って地球社会に貢献できるようになります。

- ④ 他者のために仕える精神をもっている
- ⑤ 社会から受ける恩恵を自覚し、それに伴う責任感を持っている
- ⑥ リーダーシップに必要な基礎能力を持っている

## 3 グローバル・コンピテンシーを持っている

『地球規模の問題への関心』世界の自然、地理、歴史を学び、地球規模で起きている諸問題へ目を向け、これらの問題を理解し、合理的な解決への取り組みができるために、自然科学の知識と、思考手段として数学を習得します。  
『コミュニケーション能力』さまざまな文化の違いを理解し、その違いを肯定的に受け止める心構えと、外国語、特に英語で他者とのコミュニケーションを取ることができる力を身につけます。  
『異文化受容』諸文化の価値を認めながら、すべての人々が平和で幸せに暮らせる世界を築くために、対立や分裂を乗り越えて人と協働できる力を身につけます。  
⑦ 世界の自然、地理、歴史を学び地球規模の問題への関心を抱いている  
⑧ 外国語でコミュニケーションを取ることができる  
⑨ さまざまな文化の違いを理解し、その違いを肯定的に受け止め、それらの懸け橋となれる

## イエズス会とその教育精神

カトリックイエズス会(ラテン語名:Societas Iesu、英語名:The Society of Jesus、総本部:ローマ)は、日本に初めてキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエル(1506-1552)や、イグナチオ・デ・ロヨラ(1491-1556)ら7人の同志によって設立された、カトリックの男子修道会です。

1908年、日本に大学を設立するために3人のイエズス会士が来日し、1913年、専門学校令による上智大学が開校しました。その後、1948年に新制大学として発足し、現在に至るまで、上智大学は、カトリック・キリスト教ヒューマニズムに基づく人間教育の中心であり続けています。イエズス会は、教育目標として、「For Others, With Others」を掲げています。「自分の才能や能力を自分の満足や利益のためだけではなく、他者のために役立てる人」ということを意味します。この指針は上智大学をはじめ、鎌倉の栄光学園、神戸の六甲学院、広島の広島学院といった本校の姉妹校すべてにおいても継承されている教育精神です。



「聖フランシスコ・ザビエル像」(レプリカ)  
上智大学所蔵

## 学校法人上智学院が設置する学校

### 高等教育機関

- ① 上智大学  
(東京都千代田区)
- ② 上智大学短期大学部  
(神奈川県秦野市)

### 中等教育機関

- ③ 栄光学園中学高等学校  
(神奈川県鎌倉市)
- ④ 六甲学院中学校・高等学校  
(兵庫県神戸市)
- ⑤ 広島学院中学校高等学校  
(広島県広島市)
- ⑥ 上智福岡中学高等学校  
(福岡県福岡市)





# 上智福岡の目指す六年一貫教育

## 基本的な学習習慣を確立し、基礎学力の定着を図る

課題に取り組んでいく中で、授業と家庭学習という基本的な学習習慣を身につけ、その成果を小テストなどで確認していきます。学習習慣が身についていない生徒に関しては、昼休みや放課後を利用して指導を行っていきます。

## 広く深く学力の充実を図り、 将来の進路を考える

中学から高校の課程に移る段階で、学びのレベルが上がります。高校レベルの勉強にスムーズに移行できるよう、基礎をしっかりと固めると共に、高2での文系・理系コースの選択を取り組みを行っていきます。

## 受験への意識を高め、目標達成に向けて学力を磨く

高2の早い時期に、生徒との面談を通して自分の目標とする大学・学部・学科を明確にし、受験への意識を高めていきます。高3では、生徒の志望に沿って、文系・理系コースを国公立・私立コースに細分化し志望大学合格に向けた徹底的な指導を行っていきます。

中1

中2

中3

高1

高2

高3

中学校学習内容

基礎力充実

基礎力完成

大学受験演習

通常クラス(4クラス)

文系コースI  
文系コースII  
理系コースI  
理系コースII私立文系コース  
国公立文系コース  
難関国公立理系コース  
国公立・私立理系コース

オリエンテーション合宿

サマー・キャンプ P 22

上智大学  
サマー・ティーチング・プログラム  
P 15海外語学研修  
P 16

進路講演会

修学旅行 P 22

合格者報告会

カンボジアスタディツアーパーク P 17

アジア太平洋イエズス会姉妹校  
リーダーシップフォーラム P 16

計算コンクール P 11

ボランティア活動等 P 18

放課後特別講座

校内英語暗唱・スピーチコンテスト P 19

問題発見・解決型授業「Studies For Others(他者のための学び)」 P 09

上智大学 出張授業 P 14

**放課後特別講座(高校生)**  
高1・高2はハイレベル講座として、  
高3では大学別、受験タイプ別に  
細分化された個別講座として、  
20近く講座が開講されます。

全員参加

希望者参加



# 1. 大学受験を見据えた学力づくり

各教科を授業内容により各科目に細分化し、十分な授業時間を確保しながら、生徒に内容をしっかりと理解させる取り組みを行っています。また、生徒1人1台のICT端末を導入したことで、よりアクティブな授業展開、より深い個別学習や協働学習が可能となりました。

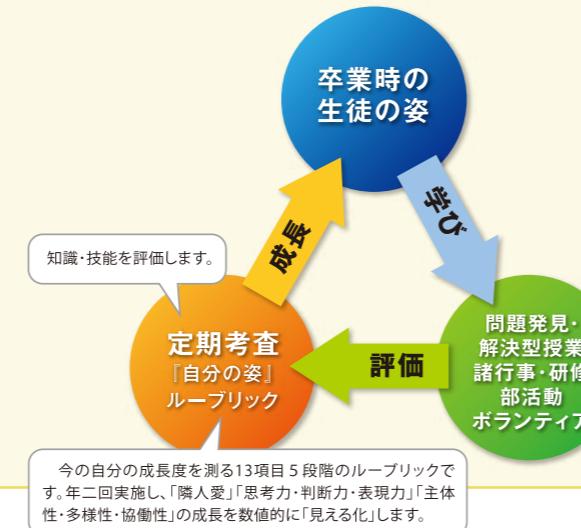
## 中学授業プログラム

教科	科目	学年	時間数	授業内容
英語	英語	中1～中3	4	英語の基礎・基本を学び、読む力・聞く力を伸ばす授業
	E語		2 (中3は1)	外国人教員とのチーム・ティーチングで書く力・話す力を伸ばす授業
数学	数学α	中1～中3	3	代数分野を中心とした授業
	数学β		2	幾何分野を中心とした授業。中2では週3時間をかけて行う
国語	国語A	中1～中3	2～3	現代文の文章解釈を中心とした授業
	国語B		2～3	文法(口語・文語)を中心とした授業
理科	理科I	中1・2	2	中学理科(物理・化学・生物・地学)を中心とした授業・実験
	理科II		1～2	
	理科I	中3	2	中学理科まとめを中心とした授業・実験
	生物基礎		2	生物基礎(高校の内容)を中心とした授業・実験
社会	地理	中1・2	1.5～2	人々の多様な暮らし方や社会条件を学ぶことで、他者への寛容な視点を養う
	歴史		1.5～2	過去の社会や人々を学ぶことで、現代社会についての多角的な視点をも養う
	公民	中3	4	現代社会のしきみや課題を学ぶことで、社会における自己の活かし方を考える

## Rubric Evaluation

### 『自分の姿』ルーブリックで 一人ひとりの人間力を「見える化」します。

ルーブリックとは私たちの教育目標である『卒業時の生徒の姿』への到達度を示す言動の評価指標です。本校が開発した『自分の姿』ルーブリックにより、定期考査による知識技能の評価だけでなく、見えにくいとされる「思考力・判断力・表現力」「隣人愛・リーダーシップ」などの人間力の評価を可能にしました。



# 2. 課題発見・解決型授業「Studies For Others(SFO)」

「Studies For Others」(他者のための学び)は、「平和構築・貧困の解決」を基調とした課題発見・解決型「総合的な学習・探究の時間」です。6学年それぞれ成長段階に応じたテーマが設定され、学校で学ぶ知識や体験を活用して「平和構築」「貧困の解決」の妨げに気づき、その克服に関わる志と資質を育てます。主な内容は以下のとおりです。

## 2023年度実践例

中1課題研究テーマ	中2課題研究テーマ	中3課題研究テーマ
「探求の共同体」の形成	言葉を使って論理的に表現する	良心(Conscience)に向かう 科学(Science)の錬成
入学当初から仲間づくりのアイスブレイクやクラスの共同作業を通して、「共に学びに向かう」という理想のクラス像を協力して作り上げています。学期ごとのクラス目標の設定や振り返り、哲学対話などの共同探求プログラムを実施します。	社会問題等に対する自分なりの主張を、事実等のデータを根拠に、その論拠・理由付けを説明し、説得力のある文章として論理的に表現する方法を学びます。また、ペアワークやグループワーク等の学習活動を通して、表現力だけでなく、思考力や判断力を育むプログラムを実施します。	科学を正しく認識し、正しい在り方を探すことを目的とし、実体験の生活や科学的な事象に関する疑問の探究を行っています。グループ活動を通して、ICTを活用したプレゼンや論文作成を行うことで、論理的に説明する力を養います。
高1課題研究テーマ 「自分の生き方を考える」	高2課題研究テーマ コーポレートアクセス	高3課題研究テーマ “My Mission”平和構築・貧困の解決にむけて卒業後10年の軌跡
人間の発達段階を知り、自分が位置している青年期について理解を深めつつ、自分の価値観に向かい、今後の自分の生き方を考えていきます。生き方を考える中で、キリスト教的価値観を一つのモデルとして学びます。学期ごとのレポート作成を通じて、自分自身に向き合うつながりを得るとともに、それを他者に伝わるように表現する力を養います。	教室内外でインターンとして企業活動に参加し、企業から課される正解のないミッションに対し、仲間と力を合わせ、考え、行動し、オリジナルの答えを見つけることを体験的に学ぶことで、自ら課題を発見し、その解決のために必要な情報を探し、計画立てて行動する能力を養います。	国連が定めるSDGs17のゴールのなかに自分の使命とする課題を見つけ、どのように解決に取り組みこの世界に貢献していくのかを探究し、My Missionとして英語で発表します。

※高1と高3のSFOは宗教と協働した授業を行っています。

本校ではこのルーブリック評価を年2回実施し、授業、課外活動、諸行事を通して生徒一人ひとりが、『卒業時の生徒の姿』へと成長しているのかを検証いたします。また、その結果をもとに絶えず教育活動の向上を図ります。右のグラフは、2023年度卒業した生徒の4年間の成長の軌跡です。年ごとに人間力をつけていることが見て取れます。

## 2023年度卒業生『自分の姿』ルーブリックスコア伸長度





# 上智福岡の理系教育

## 体系数学で数学を体系的に学ぶ

本校では、中学1年生、中学2年生で、数学の教材として、中高一貫校用のテキスト「体系数学」を使用しています。

### 体系数学を使用するメリット

#### ○数学を体系的に学ぶことができる

例えば、「等しい」関係を表す「方程式」は中学1年生で学びますが、「大きい」「小さい」といった関係を表す「不等式」を学ぶのは検定教科書では高校1年生です。本来「等しい」「大きい」「小さい」はごく自然につながって理解される内容であり、体系数学では「不等式」を中学1年生で学びます。



#### ○分野ごとにテキストが分かれている

体系数学はテキストが「代数編」と「幾何編」に分かれています。数学において、計算力はもちろん大切ですが、学年が上がるにつれて、幾何の分野の重要性が増してきます。実は、体系数学では「幾何編」がとても充実しているため、中学生の段階から幾何をしっかり学ぶ上では最適のテキストです。

## 理科実験を通して理科への興味・関心を育む

○物理・化学・生物の3つの実験室を備え、各実験室や観察を通して、理科に対する興味・関心を刺激し、**実感の伴った理解を促しています。**

○中学・高校の6年間を通して、**物理・化学・生物・地学の4分野をバランスよく学びながら、さまざま**な自然現象に対する科学的な考え方(思考力)を育みます。

中学では各分野の基礎的な内容を学び、高校では中学で学んだ基礎をいかして、より発展的な内容に取り組みます。

○物理部や生物・化学部などのクラブ活動では、中学生と高校生と一緒に活動し、**研究の基礎となる考察力を身につけることができます。**

○物理・化学・生物・地学すべての科目の**専門教員が専門性を生かして教えています。**

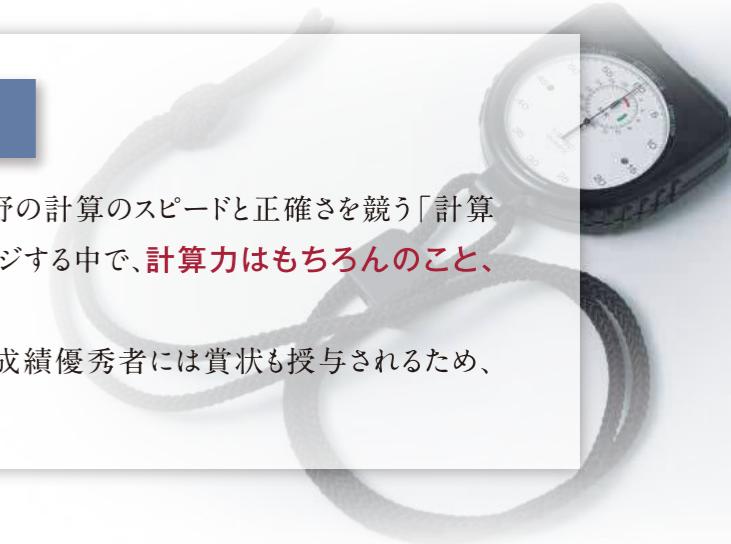
○難関大学や医学部にも対応できるように高3で演習を積むことが可能です。



## 計算コンクールで計算力を鍛える

本校では、中学1年生～高校1年生を対象として、既習分野の計算のスピードと正確さを競う「計算コンクール」を実施しています。60～100問の問題にチャレンジする中で、**計算力はもちろんのこと、集中力や忍耐力も同時に養われます。**

中1と中2、中2と中3、中3と高1、と2学年合同で競い合い、成績優秀者には賞状も授与されるため、生徒の取り組むモチベーションがさらに高まります。

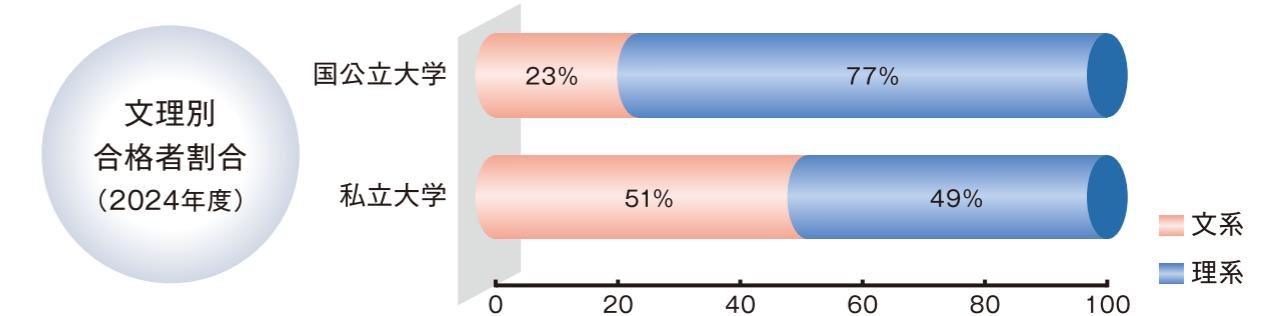


## 基礎となる英語力が理系学部への高い合格率を支える

医歯薬系をはじめとする理系学部合格に必要なものは、もちろん数学と理科の力ですが、その基礎となるのは英語力です。本校の充実した英語教育力と培われてきた理系指導のノウハウが理系学部への高い合格率を支えています。

### 理系学部への合格実績 (2020～2024年度)

○医学部医学科	.....	35名	○農学部	.....	18名
○歯学部歯学科	.....	15名	○理学部	.....	22名
○薬学部	.....	51名	○工学部	.....	256名
○看護学部	.....	40名			
○獣医学部獣医学科	.....	10名			



## 国際社会に通じる実践的な 英語コミュニケーション能力を身につけます。

### 1. 「世界への架け橋となるリーダー」にふさわしい語学力を

上智福岡中学高等学校が目標とする「世界への架け橋となるリーダー」に必要な英語コミュニケーション能力として、次の力が高校卒業時に身につくことを目指します。

Point | 1 社会性の高い内容の文章を理解し、また書くことができる。

Point | 2 伝えたい内容を論理的に話し、質問に的確に対応できる。

Point | 3 情報や体験をまとめ、プレゼンテーションができる。

Point | 4 対立する論点についてディベートができる。



### 2. 豊富な授業数と充実したコミュニケーション活動を通して

Point | 1 英語の授業は週5~7時間

週5~7時間の授業は英語でのコミュニケーションの場です。授業は英語で行うことを中心とし、日本語は必要最小限にとどめ、生徒が英語に触れる機会を充実させます。

Point | 2 実践的な運用能力

授業でのペアワーク、グループワーク、レシテーション、プレゼンテーション、ディベートなどさまざまなアクティビティーを通して、英語を英語で理解し、表現できる実践的な運用能力を養います。



Point | 3 「聞く、話す、読む、書く」4つの技能

これらのアクティビティーに加え、ネイティブスピーカーによる小規模クラスでの授業などで習った内容を実際に自分の言葉で表現する能力を育成します。これにより、訳讀や和文英訳、文法指導にとどまらず、「聞く、話す、読む、書く」4つの技能をバランスよく伸ばします。

Point | 4 CLIL による授業

CLIL(内容言語統合型学習)は、ヨーロッパにおける中心的な言語習得のアクティブ・ラーニングのひとつです。その教授法や教材研究開発を、上智大学言語教育研究センター長藤田保教授、逸見シャンタール教授の指導のもとおこなっています。CLILによる授業では、4技能でグループワークを多用しながら異文化理解、国際問題などに関するメディア上の生情報を理解、分析し、自分なりの見解を持たせます。このようにして地球規模の課題に対する思考力、判断力を養い、英語力を伸ばします。

Point | 5 海外語学研修

上智福岡中学高等学校では、「世界の中の日本」という視点をもって世界で活躍する人に必要な英語力の基礎を学びます。そして実際に、英語が分かる、英語を使うことができるこことを体感するために、海外語学研修を準備しています。海外語学研修は、中学3年間で身についた英語の4技能の成果を実際に試す場であり、コミュニケーションができる喜びと難しさを知ることで、さらにステップアップした高校英語への懸け橋となるものです。

Point | 6 外部英語試験の定期的な受験

授業で培った英語力を図るために、定期的に英検、GTEC、TEAPを受験しています。英検については高3までに2級以上を約60%の生徒が取得しています。

## 充実したグローバルリーダー 育成プログラム

グローバルリーダーに必要な資質を育てる生徒の主体的体験・内省・実践の機会を豊富に擁しております。これらの体験は、教室での学びの質を高めるばかりではなく、人生の目標を見つけ、意欲的に学習に取り組むきっかけにもなります。



### ① 上智大学との 教育提携プログラム

- 上智大学出張授業
- 上智大学サマー・ティーチング・プログラム
- 英語カリキュラム共同開発
- 授業力向上研修

### ② 海外研修

- 海外語学研修(中3)
- アジア太平洋イエズス会  
姉妹校リーダーシップフォーラム
- カンボジア スタディツアーア

### ③ 国内研修・ボランティア

- 大名町教会炊き出しボランティア
- 釜ヶ崎ボランティア
- 東ティモール支援プロジェクト

### ④ 留学生受け入れ・国際交流

### ⑤ 英語スピーチコンテスト・暗唱大会



# 上智大学との教育提携で教育理念に沿った教育提携プログラムを実施しています。

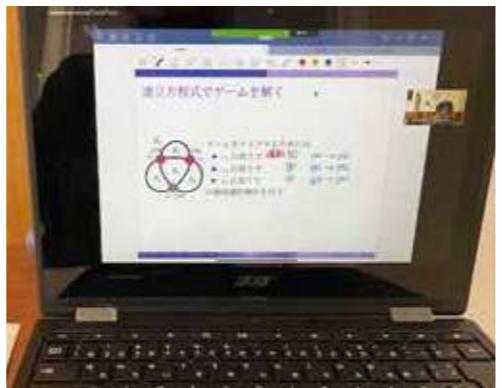
本校は教育理念を同じくする上智大学と2010年度より教育提携を結び「より大きいなるものを知り、他者に奉仕し、世界への懸け橋となるリーダー」の育成に力を合わせて取り組んでいます。この教育提携プログラムの内容は次のとおりです。

## 1 幅広い教養・グローバルコンピテンシーの育成

生徒は6年間、毎年上智大学の豊富な教授陣の指導と、大学との様々な企画の中で、グローバルな時代に生きる生徒に欠かすことのできない幅広い教養とグローバルコンピテンシーを身につけます。

### 出張授業『叡智の世界』

学部・学科	講 師	対象	内 容
外国語学部 ポルトガル語学科	矢澤 達宏 教授	中1	外国語学部で学べることとは～その魅力と意義～
総合人間科学部 看護学科	松永 真由美 助教	中1	医療現場から伝えたい誕生の奇跡と軌跡
文学部 国文学科	長尾 直茂 教授	中2	漢字ってナンだろう？
理工学部 情報理工学科	萬代 雅希 教授	中2	未来のコミュニケーションはどうなる？
法学部 地球環境法学科	北村 喜宣 教授	中3	ラーメン屋さんは残り汁をそのまま川に捨ててもいいの？ 倒れてきそうなお隣のオンボロ空き家をなんとかして！
経済学部 経営学科	石井 昌宏 教授	中3	経営学を学ぶ前に
理工学部 物質生命理工学科	齊藤 玉緒 教授	中3	遺伝
総合人間科学部 社会福祉学科	高山 恵理子 教授	高1	社会において社会福祉はなぜ必要なのか ～「自分ごと」として考える～
理工学部 機能創造理工学科	黒江 晴彦 准教授	高1	ダイヤモンド・ルビー・量子力学～さて何が出来る？～
国際教養学部 国際教養学科	Chan Yen-Yi 助教	高2	Reading Premodern Japanese Art: An Introduction to Iconography 日本美術を「読む」：図像学入門
総合グローバル学部 総合グローバル学科	小林 綾子 准教授	高2	国際人権ワークショップ：自分の街の地図を描こう
神学部 神学科	小山 英之 教授	高3	ロシアとウクライナの戦争と「平和」



## 上智大学サマー・ティーチング・プログラム(中3)

上智大学外国語学部英語学科の学生約20名が来校し、夏休み中の6日間、中学3年生に英語を指導します。少人数グループでの楽しいアクティビティーを通して英語でコミュニケーションをするおもしろさを学びます。



## 2 教育力の向上

### 英語カリキュラム共同開発

上智大学言語教育研究センター長などを歴任された吉田研作教授の指導の下、2010年度より2020年度まで6カ年の英語カリキュラムを開発してまいりました。また年3回英語科研修を実施し英語指導法の向上を図っています。

### 授業力向上研修

上智大学総合人間科学部教育学科より教員を招聘し、アクティブ・ラーニング技術など、全教員の授業力向上に取り組んでおります。

## 3 教育提携校特別推薦

教育提携校特別推薦として40名枠があります。

## 在校生からのメッセージ



上智福岡での成長  
桑原 理沙さん  
(高校3年生)  
※2024年卒業

上智福岡での6年間の積み重ねによって一人ひとりの中に育まれていくものはたくさんあると思います。私が上智福岡に入学して良かったと思うことは、まず完全中高一貫校だからこそ生徒と先生の関係の深さです。先生方は、学習面はもちろん生活面での相談にも、両親や友達とは違う視点から親身になってアドバイスをくださいます。それはお互いのことをよく知っているからだと感じます。

次に、グローバルな視野を持つことができるということです。SFO(Studies For Others)という上智福岡独自の授業では、SDGsなど、教科の枠を越えた視点を持って世界を見ることを学びます。また、書くことだけでなく話すことにも重きを置いた英語学習では、実践的な英語を身につけることができます。



勉強をより好きになる  
赤波江 優佑さん  
(中学3年生)  
※2024年卒業

本校では中学生のうちから、ひとつの教科がいくつかの科目に分かれ、更に数名の先生に教えていただいている。例えば英語の場合、教科書を使った授業と実用的かつ発信するような授業が用意されています。また、担当の先生や教科が分かれていることによって大学受験を意識できるようなハイレベルな授業を受けることができます。私はこういった授業を受けることで勉強をより好きになりました。

上智福岡は完全中高一貫校であり、高校からの入学がなく6年間ずっと同じ仲間と過ごすことができます。そのため結束力が強い上、高校生と共同で実施する行事が多く楽しく活動することができます。

このように、上智福岡は充実した学習環境や生活環境が整っている学校です。皆さんと上智福岡生としてお会いできることを楽しみにしています。